ISSN 0919-4657

KONC

関西自然保護機構会誌

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

26巻2号（通算48号）

KONCセミナー　河川汽水域生態系のありよう
－淀川汽水域の自然再生にむけて－



2004年12月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

干潟の泥の思い出 — アシハラガニ —

写真・文　伊藤　ふくお

私が生まれ育ったところは、伊勢湾の奥三重県四日市市です。もの心ついた頃から野原や川などで、おじいちゃんと遊んでいました。おじいちゃんには、危険な動物、食べられる野草、ナイフの使い方など自然の中で遊ぶ術を教えてもらいました。その頃に体験した事で、今でも感触まで鮮明に憶えているものが二つあります。一つは、秋真っ赤なカラスウリを採ろうと、ツルをおもいきり握った瞬間潰してしまった芋虫の緑色の体液と、手のひらに感じた、何とも言えない気持ちの悪い感触。二つ目は、ハゼ釣りに使うゴカイを採るために入った干潟のドロの感触と、独特の匂いです。後者は、足先に触れた、おそらくウナギだろう感触や、皮膚をチクチクするゴカイだろう感触も残っています。故郷を離れて久しく、今では私が遊んだ干潟が残っているかどうか知りません。

そんな懐かしい干潟が数年前に訪れた西表島にありました。タコの足のように根を張ったオヒルギなどが構成するマングローブ林と、見事な干潟があったのです。私は惑わず裸足になり干潟の泥の中へ、ひんやりとした感触の後に暖かく感じる泥に、懐かしい記憶が戻るのも同時でした。写真は、1983年に三重県雲出川河口で撮影した、アシハラガニです。確か、私が撮影している先の砂州で、マテガイを採っている人たちがいたのを記憶しています。それから20年ほどたってしまいましたが、アシハラガニやマテガイは健在なのでしょうか。

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONC はその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．基礎研究の実施
2．シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．現地見学会の開催
4．研究助成金の交付
5．会誌・連絡紙の発行
6．自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。